

畜産とくつく情報

平成22年9月1日
 (通算第125号)
 問い合わせ先
 長野県庁園芸畜産課
 電話 026-235-7232

長野県種雄牛「栄寿」利用についてご検討ください。

枝肉成績からみた「栄寿」の能力について

家畜改良事業団の「安茂勝」は、「栄寿」に系統が近く、育種価評価が高い優れた種雄牛であることから「栄寿」との比較対照牛に選定して比較しました。(表1)

表1. 平成21年度第2回推定育種価解析結果(ランク)と特性

種雄牛名	枝肉重量	ロース	バラ	皮下脂肪	歩留	脂肪交雑	脂肪交雑順位	後代数
栄寿	A	A	A	A	A	A	3	48
安茂勝	A	A	A	A	A	A	12	340
種雄牛名	父	母の父	母の母の父	系統	体積:資質			
栄寿	平茂勝	安福165の9	糸晴波	気高	6:3			
安茂勝	平茂勝	安福(岐阜)	賢晴	気高	6:3			

育種価評価 Aランク:上位1/4以上、Bランク:上位1/4以下~1/2以上、Cランク:下位1/2以下

「栄寿」産子の長野県内の市場への上場頭数は、152頭と多く、「安茂勝」産子と比較しても遜色ない価格で取引されています。(表2)

長野県内で肥育された枝肉成績のうち、BMS.Noについて分布を調べたところ、平均値は6.6と両者に差はありませんでした。(図1)一方、「栄寿」は、判明している母牛の脂肪交雑育種価がCランクであってもNo6, No7の4等級の枝肉を生産できており、「安茂勝」と同等の能力を有していると推定できます。(表3)

図1. 栄寿および安茂勝BMS格付け分布

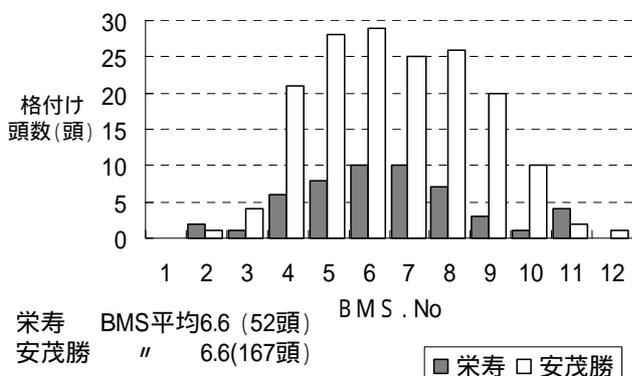


表2. 長野県中央家畜市場における出荷頭数と販売価格(税込)

開催月日	種雄牛名	栄寿	安茂勝
2010/4/13	上場頭数	46	33
	雌	390,938	393,450
	去勢	456,692	458,353
	平均	416,667	430,818
2010/6/15	上場頭数	59	35
	雌	404,318	399,593
	去勢	442,988	410,900
	平均	422,670	403,470
2010/8/5	上場頭数	47	33
	雌	356,783	394,059
	去勢	413,933	443,494
	平均	389,595	417,517
加重平均		152頭	101頭
		410,626	416,995

表3. 母牛脂肪交雑推定育種価平均値のランクとBMS.No格付け頭数の関係

BMS.No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
栄寿頭数	/	C (2)	B (1)	B (6)	B (6)	C (7)	C (6)	B (7)	A (3)	/	C (2)	/
安茂勝頭数	/	C (1)	C (4)	C (21)	B (28)	B (29)	B (25)	A (26)	A (20)	A (10)	B (2)	A (1)

長野県種雄牛「栄寿」を利用した場合の留意点 について

「栄寿」産子は在胎日数が長く（約294日）、生時体重が大きい特徴があります。

特に、雄子牛では、分娩予定日の延長に伴い生時体重が大きくなり、分娩介助の割合も高くなっています。産子の体重が大きくなり過ぎると、難産になりがちですので注意しましょう。（表4）

表4. 栄寿産子の在胎日数と生時体重

性	頭数(うち介助)	死産	在胎日数(範囲)	生時体重(範囲)
雄	32頭 (15)	1頭	294.4日 (286～304)	41.6kg (24.3～57.2)
雌	36頭 (6)	0頭	293日 (283～302)	36.2kg (28.6～42.6)

畜産試験場および木曾農協のデータ

昼間分娩法の実施と分娩誘起について

1. 分娩予定日10日前には、母牛を分娩房へ移動します。
2. 昼間分娩法を実施しましょう。分娩予定日2週間前から夕方5時以降に1日分のエサを1度に全量与え、昼間は一切エサを与えないようにすると、昼間に分娩する確率が7～9割に高まります。
3. 分娩には必ず立ち会い、難産の時は分娩を介助しましょう。
4. 分娩予定日10日を過ぎたら、獣医師に分娩誘起を実施してもらいましょう。
5. 子牛がなかなか立ち上がらず、母牛からの初乳摂取が遅れる場合は、初乳や人工初乳製剤等を給与しましょう。

大きく生まれた子牛はその後すくすくと大きくなり、分娩時の苦労は子牛販売価格に反映されるものと理解しましょう。

詳細は最寄の家畜保健衛生所・畜産試験場へお問い合わせください。